

「大阪広域環境施設組合 一般廃棄物処理基本計画（素案）」に対する
パブリック・コメントに寄せられた意見の要旨と組合の考え方

項目	意見の要旨	当組合の考え方
ごみ焼却工場の整備配置計画	新規工場を建てることはないのですか？焼却工場を減らしすぎでは？広域化になったことで他都市のゴミも受け入れている状況でもう少し余裕のある計画があると 計画どうりに進んでも各工場の対応年数がかなり長く基幹改良前に故障してしまうかもしれない 計画を見ても元は建て替えだったものを強引に基幹改良としたように思える。 インフラとして重要なもので大阪市だけではないこと他都市の焼却工場がなくなったことを踏まえて 新規工場建設や他都市の焼却工場の建て替えを検討実施すべき。	・ごみ焼却工場の整備・配置計画の改定に当たっては、構成市のごみ処理量、ごみの安定処理のために必要な処理余力等の基本的な条件を設定したうえで、工場の整備時期や整備手法について検討しております。 ・整備手法については、環境施設組合が有する7工場を建替工事のみで将来的に整備していくことは困難であるため、延命化を目的とした基幹的設備改良工事の実施も含めて検討いたしました。 ・老朽化が著しい複数の工場を早期に健全化するため、基幹的設備改良工事を活用し、安定的なごみ処理体制を確保することとしております。